

表情はほつぺたで決まる

ししきょうそう

## ②5 獅子頬相

仏様の頬は獅子の様である。それが今回の獅子頬相です。



頬は、哺乳類にとって母乳を吸うのになくてはならない部位であり、リスなどの頬に食べ物を蓄える動物もいます。また、ヒトにおいては感情を表す部分でもあります。頬をあげれば笑いになり、膨らませれば怒りになります。ほつぺたで感情を司るのです。鏡の前で、頬をあげて見てください。ほら、表情が明るくなったことでしょう。

宍戸謙さんは若い頃二枚目俳優ながら、頬を膨らませる手術をし役の幅を広げたと云います。それほどほつぺたは、印象が強い部分なのです。



獅子の如き頬を持つ仏様は、目の事に追われ、揺らぎに揺れる我が迷いの心を、まさに断ち切らんとするたくましさを表しています。

「理想は語り手が消えてしまうことだ」  
-和家小三治-  
「またまた程よいア  
君住取ム

仏様の

# 三十二相

仏様には32の特徴があります。仏様のやさしさを少しづつご紹介です。

好き嫌いはございません

みちゅうとくじょうみそう

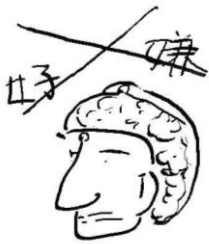
## ②6 味中特上味相

おいしいものを食す。人間の欲求の一つです。

しかし、「美味しい」と思う事は主観的なものです。特にラーメンがそれに当たります。ラーメンほど好みに分かれるものはないでしょう。また、いつもの味噌汁でも二日酔い後のしじみの味噌汁は格別な味があります。人によっても、状態によっても変化するのが「美味しい」という感情です。

友人に、何を食べても美味しいという人がいます。どんな店でも、どんな安い店でも「美味しい」ところから言えるのです。あーなんて幸せな人なんだと思う事があります。

仏様の味覚は何を食しても「美味しい」「満足だ」と感じる事が出来ます。選り好みがないのです。満たされるとは、物に恵まれている状態(外的要因)ではないようです。大量消費社会に



石を投じるお姿でもあり、好き嫌いなくすくうと表されたお姿、それが味中特上味相です。